

コロナ禍での持続可能な地域活動のための 文化・情報基盤創生プロジェクト

令和4年3月25日(金)

佐々木豊, 造賀芳文, 餘利野直人（広島大学）,

伊達義明（土里夢創房 あぐり）,

榎本翔, 上岡真琴, 上杉友輝, 河野直生, 田中敬太（広島大学大学院）



広島大学

活動の背景・問題

土里夢創房 あぐり
東広島市高屋町小谷



広島大学
大学院先進理工学科学研究科
電力・エネルギー工学研究室

コロナ禍

ほとんどの
文化行事中止

発表の場がないため
文化サークルでは活動衰退

引きこもり
会話減少

中止



中止



中止



地域活動全体が低迷, 住民間の
コミュニケーションが難しくなっている

コロナ禍での持続可能な
文化活動の形・意見・情報交換の場を模索

広島大学

土里夢創房
あぐり

提案・体感

スマホやPC
意見・情報交換の場

コロナ禍での持続可能な

仮想発表会

仮想文化展示会

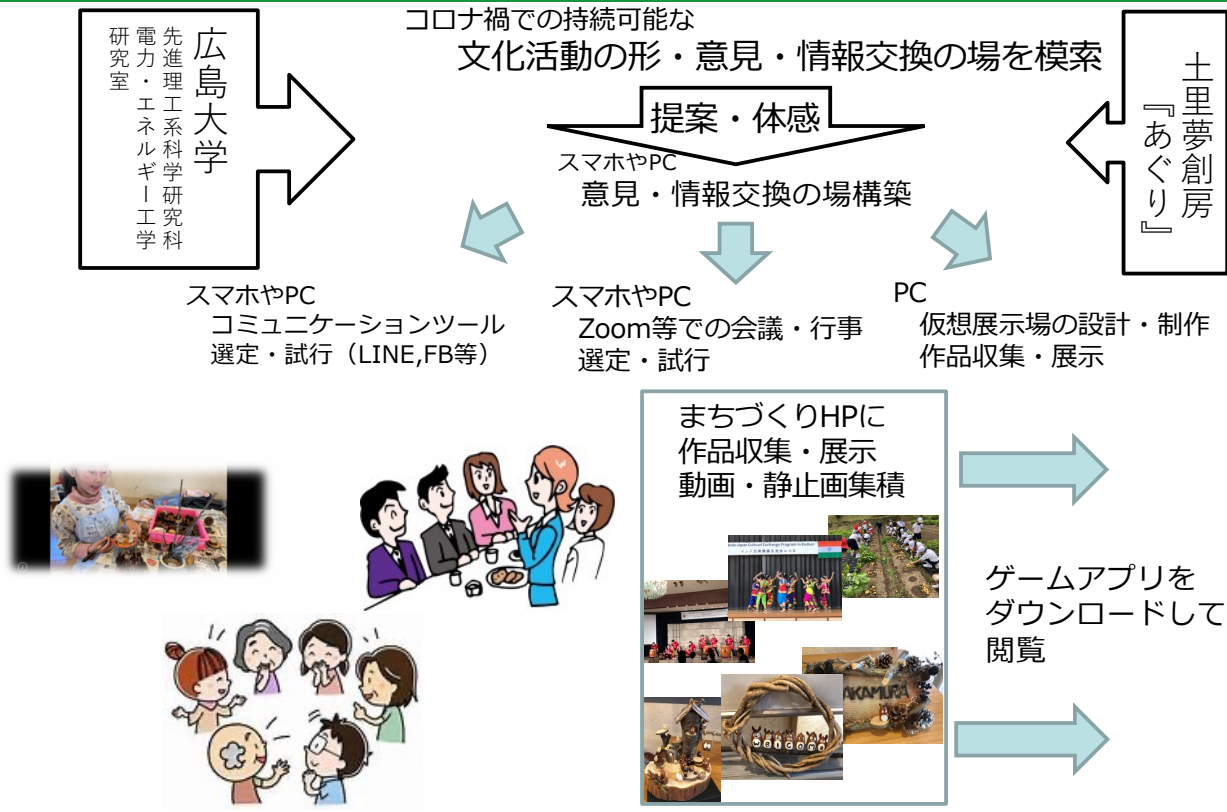
コロナ禍での持続可能な地域活動のための文化・情報基盤創生プロジェクト

活動の背景・問題

土里夢創房 あぐり
東広島市高屋町小谷



広島大学
大学院先進理工系科学研究科
電力・エネルギー工学研究室



コロナ禍での持続可能な地域活動のための文化・情報基盤創生プロジェクト

実施体制とアプリ開発計画

地域側：土里夢創房 あぐり 代表：伊達 義明 氏，ほか地域の方々

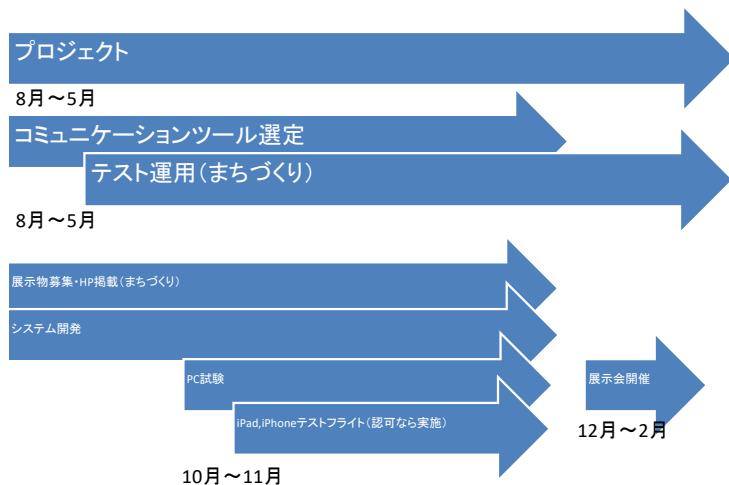
大学側：大学院先進理工系科学研究科 電気システム制御プログラム 電力・エネルギー工学研究室

教員：佐々木 豊 助教（責任者），造賀 芳文 准教授，餘利野 直人 教授，

大学院生：榎本 翔 君（学生代表），上岡 真琴 君（学生副代表），

上杉 友輝 君（学生アプリマニユアル作成担当），**河野 直生** 君（学生アプリ動作品質担当）

田中 敬太 君（学生地域広報担当）

[illegible]

コロナ禍での持続可能な地域活動のための文化・情報基盤創生プロジェクト)

活動の計画と成果



【本プロジェクトの立案から申請，採択，アプリ開発，公開までの流れ】

- ・ 2021年5月下旬 伊達様から地域での困りごとに関するご相談，本プロジェクトの申請検討開始。
- ・ 6月8日 マッチングイベントに参加。
- ・ 7月5日 申請書類提出完了、7月14日 審査会、7月20日 採択決定。
（審査付帯意見）本プロジェクトで開発する仮想展示場のアプリは，横展開により，
様々な地域において広く活用できるような形にしていきたい。
- ・ 7月28日～ バーチャル展示場アプリの展示レイアウトの検討
- ・ 8月4日～ バーチャル小谷文化のつどいの行事開催（12月予定）の準備
展示場システムの開発及びデータ授受の仕組みづくりについて検討
システム関係作業とファイル構造の検討
- ・ 10月24日～ アプリの基本動作検証、一般向けマニュアルの作成開始
- ・ 10月30日 地域の方へのご説明@小谷地域センター

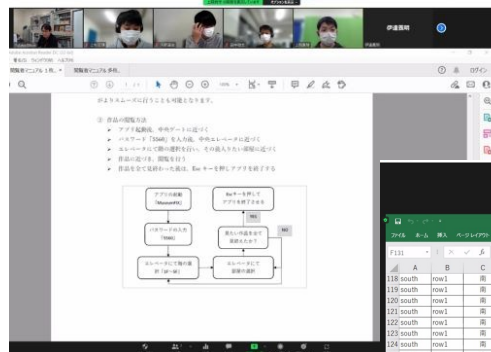


活動の計画と成果



【本プロジェクトの立案から申請，採択，アプリ開発，公開までの流れ】

- ・ 10月31日～ アプリのバージョンアップ、各階展示場の設定ファイル更新（苦労したポイント）
- ・ 11月15日 文化のつどいの開催案内案内（回覧板）



ファイル	形式	サイズ	更新日時	備考	備考	備考	備考	備考	備考
118_south_row1	南	太	28						
119_south_row1	南	太	28						
120_south_row1	南	太	30						
121_south_row1	南	太	31						
122_south_row1	南	太	32						
123_south_row1	南	太	31						
124_south_row1	南	太	34						
125_south_row1	南	太	35						
126_south_row1	南	太	35						
127_south_row1	南	太	37	1_F.jpg					
128_south_row1	南	太	38	1_F.jpg					
129_south_row1	南	太	39	1_F.jpg					
130_south_row1	南	太	40	2_F.jpg					
131_south_row1	南	太	41	3_F.jpg					
132_south_row1	南	太	42	4_F.jpg					
133_south_row1	南	太	43	5_F.jpg					
134_south_row1	南	太	44	6_F.jpg					
135_south_row1	南	太	45	7_F.jpg					
136_south_row1	南	太	46	8_F.jpg					
137_south_row1	南	太	47	9_F.jpg					
138_south_row1	南	太	48	10_F.jpg					
139_south_row1	南	太	49	11_F.jpg					
140_south_row1	南	太	50	12_F.jpg					
141_south_row1	南	太	51	13_F.jpg					
142_south_row1	南	太	52	14_F.jpg					

活動の計画と成果

土里夢創房 あぐり
東広島市高屋町小谷

広島大学
大学院先進理工系科学研究科
電力・エネルギー工学研究室



【本プロジェクトの立案から申請、採択、アプリ開発、公開までの流れ】

- ・ 10月31日～ アプリのバージョンアップ、各階展示場の設定ファイル更新
- ・ 11月15日 文化のつどいの開催案内案内（[回覧板](#)、[だより](#)）

バーチャル小谷文化のつどい 2021
令和3年12月1日～令和4年2月28日

作品展示内容

- 一般の部
絵画・書・写真
手芸・陶芸 他
- 小学校・保育所の部
絵画・工作
- 上演展示内容
- 一般の部
パチンコ・人形劇
太鼓・オカリナ
弦楽合奏・ピアノ
- 中学校の部
合唱・ブラスバンド
- 小学生の部
手芸発表会

観覧方法

- ①小谷地域センター
開催期間中
観覧用のシステムを常設します。
- ②集会所等での観覧
ご希望あり、スタッフの都合が付き
まじらう可能性があります。1月以降
- ③個人パソコンでの観覧
バーチャル小谷文化のつどいの
ホームページよりアプリをダウン
ロードして観覧してください。
12月1日より（観覧に専用IP）
性能により動作しない可能性が
あります。（ご容赦ください。）
- ④小学生
小学校のパソコンにアプリを
インストール
（クラス毎程度を予定）
- ⑤アプリ読み込み済みのパソコン貸出
可能。無料貸出です。
実用可能。観覧がスムーズ。

特別企画

- 川柳・写真大会
（2021年度）
賞の発表は元旦

お遊びとお祝い

展示・上演作品について12月1日時点で未撮影・編集・展示のものがあり、観覧・実施して
いきますのでご了承ください。初めてのことでお詫言が多数あります。ご容赦ください。
観覧・展示のスタッフがほとんどに専念するので、皆さまのご協力を希望します。
ご協力いただける方は地域センターに連絡をお願いいたします。

小谷小学校区市民協働まちづくり協議会

個人パソコンをお持ちの方へ「バーチャル小谷文化のつどい」の情報は <http://newkodani.seni.jp/> に掲載
しておりますので是非ご覧ください。バーチャル文化のつどい会場への入場にはパスワードが必要で
す。このパスワード（画面右下）は観覧時には動かないでください。観覧中に使える場合もお問い合わせ
ください。

- ①バーチャル展示場アプリをダウンロード
される方はホームページの「ダウン
ロード」ボタンをクリックしてください。
すると、ダウンロードページに移動します。
②へ進んでください。12月1日から可能
- ②展示場アプリに関するお問い合わせ
ダウンロード・インストール・アプリ起動
に関する技術的なお問い合わせがある場合
はメールでお問い合わせください。
専任の担当者がおります。できるだけ
早い回答に努めますので、よろしくお願
いいたします。

ダウンロードページに移動しましたら
ダウンロード・インストール説明書（PDF説明書）を
ダウンロードし、必ず 説明書をお読みください。

説明書を理解していたら
展示場アプリケーション「アプリ」をクリック
して、氏名、アドレス等を入力してダウンロード希望
メールを送信してください。
すでに送信メールが送付済みです。
その高度メールに記載されているURLをアプリでダウン
ロードしてください。
ダウンロードしたWindows10/11をデスク
トップ等に移動し、すべて開閉してください。
開閉が終わると、観覧できる「newkodani.seni.jp」を起動
してください。インストールが完了します。
文化のつどいの展示場
入場用のパスワードは
5560

後は操作説明書に従ってバーチャル小谷文化のつどいをお楽しみください。

令和3年
12月号

小 谷
地域センターだより

VOL. 101 (2021.11.19発行)
発行：小谷地域センター
住 所：〒739-2121
東広島市高屋町小谷 5560
TEL/FAX: (082) 434-3758
E-mail: kodani-kecity.
higashihiroshima.hiroshima.jp

令和3年度もコロナ感染者の増加に伴い「防止対策として第5波の「緊急事態宣言」「まん延防止」
が広島県より発令され長期間続きました。9月末で一応解除となりましたが、コロナ禍によって計画
通りイベントができない状況です。この現状を踏まえ今度、まちづくり協議会の「文化・青少年育成
部会」初めての試みで、システム設計製作は「土里夢創房・あぐり」と「広島大学院・先進理工系科
学研究科」がタイアップし「バーチャル展示場」を開発。小谷地区の小学校、保育所、地域セン
ター（主催、自主講座）、そしてまちづくり協議会の活動を含む、作品、動画を出展し撮影。先進
のバーチャル技術をパソコンに取り込み全てパソコンの画面から作品、動画を拝見できるシステ
ムに挑戦、11月末で完成予定です。会期予定は12/1～2/28まで予定されております。入場方法は
「まちづくり協議会ホームページよりAPRをダウンロードして「バーチャル文化のつどい」からパス
ワードを入力して入場できます。初めての試みなので反響が大変楽しみです。時代の変化にとま
どいながら一生懸命就いて行っております。

小谷地域センター長 鈴木 敏也

受講生募集…………ご案内…………

12/17 (金) 10:00～11:30	健康学級 参加費無料	絵を描いて楽しもう 日時 12/11 (土) 9:30～11:30
-----------------------------	---------------	---

コロナ禍での持続可能な地域活動のための文化・情報基盤創生プロジェクト

活動の計画と成果



【本プロジェクトの立案から申請，採択，アプリ開発，公開までの流れ】

- ・ 11月22日 開発したアプリを小谷小学校へ導入
- ・ 11月24日 アプリのコンテンツ設定更新，評価実験、
マニュアルの修正、専用Webサイト

小谷文化のつどい

バーチャル展示場で文化のつどいを開催 12月1日～翌2月28日まで

コロナ禍、色々大変な時節ですが
みなさんの作品や演奏に触れ
素敵なひとときを過ごしてください。
バーチャル展示場は土里夢創房「あぐり」が広島大学元気応援プロジェクトの助
成を受けて同学先進理工系科学研究科と一緒に作成しています。

プロジェクト概要

土里夢創房あぐり

先進理工系科学研究科

ダウンロード

バーチャル「小谷文化のつどい」の展示会場への作品展示

12月1日より、入場・閲覧は可能ですが、12月に撮影アップロードの作品もありますのでご了承ください。アップロードの都度、このページのインフォメーションにてお知らせいたします。なお、上演作品の一部に著作権の関係で音声が無かったり、上映できない作品もございます。ご了承ください。

バーチャル「小谷文化のつどい」のアプリ 及び 操作説明書 右
上の「ダウンロード」ボタンをクリックしてダウンロードページに移動して
取得してください。先に操作説明書を手入れ確認してからアプリをダウンロードして
ください。なお、入館のパスワードは全戸回覧に記載しております。

別な事業でアプリの使用を希望される方へ

仮想展示場のシステムは広くみなさまの活用を考慮して汎用的に作成してあります。翌
年2月を目途に仮想展示会の開催(設定)説明書を作成しますので、活用してください。
なお説明書には展示場入館パスワードの仕組みについては公開できませんのでパスワー

Information お知らせ

- 2021年7月5日 広島大学の
可能な地域活動
いうタイトル
- 2021年7月14日 広島大学で
行いました。
- 2021年7月20日 同プロジェ
れからが大
- 2021年7月20日 展示場シス
- 2021年7月24日～8
月12日 まちづくり
した。

コロナ禍での持続可能な地域活動のための文化・情報基盤創生プロジェクト

活動の計画と成果



【本プロジェクトの立案から申請，採択，アプリ開発，公開までの流れ】

- ・ 12月18日 地域の方へのご説明（アプリお披露目会）

アプリの動作について地域の方々への説明
Virtual展示会場のデータ入力と設定確認
地域の方々との意見交換会兼報告会



活動の成果

土里夢創房 あぐり
東広島市高屋町小谷



広島大学
大学院先進理工学科学研究科
電力・エネルギー工学研究室

広島大学 Town&Gown Officeのコモンプロジェクト（東広島市）として登録



[ホーム](#)
[事業概要](#)
[お知らせ](#)
[お問い合わせ](#)
[アクセスマップ](#)
[サイトマップ](#)



コモンプロジェクト(地域の元気応援プロジェクト)：「コロナ禍での持続可能な地域活動のための文化・情報基盤創生プロジェクト」

2022年1月17日



カテゴリー別一覧

お知らせ(53)

活動報告(31)

- 1 共同事業の日常業務化(8)
- 2 エビデンスに基づく政策・行政(3)
- 3 外国人との共生モデルタウンの形成とグローバル教育産業の誘致(4)
- 4 アントレプレナーのエコシステム形成、イノベーション人材育成・支援(3)

訪問・視察(2)

イベント(17)

アーカイブ(13)

キャンパスづくり・まちづくりトピックス(3)

メディア掲載情報(6)

新着のお知らせ

コロナ禍での持続可能な地域活動のための文化・情報基盤創生プロジェクト

地域の元気応援プロジェクトのメリット

【地域の方々から】

- ・コロナ禍、仮想展示場のアプリを活用したバーチャル文化のつどいが開催でき地域貢献ができた
- ・アプリを導入したPCを地域センター、小学校、保育所に常設し、文化のつどいを楽しんでもらえた

【大学の教員として】

- ・仮想展示場のアプリ開発の支援を行うことで、少なくとも大学の地域貢献ができたと考える
- ・今後は、開発して展示場アプリの機能を拡充されるために広島大学のクラウドファンディング制度に挑戦してみたい

【参加した学生から】

- ・アプリ利用者・開発者向けのマニュアルの作成や地域住民へのアプリ活用方法の説明など苦勞した点多かった。
- ・しかし、活動を通し、地域の方々と触れ、地域貢献のやりがいを実感した
- ・今回開発したアプリで地域住民間のコミュニケーションが少しでも増えることを期待

今後の課題と展開

【今後の課題】

- ・ 開発したアプリのセキュリティ保護が難しい
- ・ ある程度の知識を必要とするため仮想展示場に作品を展示できる方が限られる
（解決策）ブラウザで動く仮想展示場などを開発して行きたい
仮想展示場に作品を展示するツールも使いやすく直していきたい

【今後の展開】

- ・ 仮想展示場のアプリは、他の地域に横展開することにより広く活用できるようにしたい
さらなる機能拡充のために、クラウドファンディングへの申請・登録を行い、資金調達を実施予定
- ・ 文化祭などのイベント利用だけでなく、日常的な利用について、小谷地域センターにおける地域サークルや、小谷小学校の子どもたちのサークルなどで実証を計画
（東広島市に学生協働支援隊の支援を予定）

コロナ禍での持続可能な地域活動のための 文化・情報基盤創生プロジェクト

令和4年3月25日(金)

ご清聴ありがとうございます。ご支援いただき感謝いたします。

佐々木豊, 造賀芳文, 餘利野直人（広島大学）,

伊達義明（土里夢創房 あぐり）,

榎本翔, 上岡真琴, 上杉友輝, 河野直生, 田中敬太（広島大学大学院）



広島大学